

森林やまがた

No.30

1999 9月



三神合祭殿

羽黒町羽黒山頂にあり、月山、湯殿山、羽黒山の三神を合祭した大社殿。現在の建物は文政元年(1818年)に完成したもので、高さ28尺、厚さ2.1尺の葺屋根は、東北随一のスケールを誇る。手前は鏡池で平安から江戸時代までの青銅鏡が約500面発見されている。

目次

三神合祭殿	1	真夏に駆けまわる「みどり」達7
森林・林業・木材産業基本政策検討会	2・3	山のめぐみ(藤島町) 8
女性に住みやすい家を	4	山形県の古木・名木 8
「緑の少年団全国大会」に参加して	5	平成11年度秋の緑化運動 9
地域材を使用した木造施設	6	林業まつり、ウッドフェスティバルのご案内 10
		流域活性化センターシンポジウムのご案内 12

田家林野庁次長が来県し、意見交換会を開催

―森林・林業・木材産業基本政策検討会報告―

【意見交換】

林野庁は、森林・林業・木材産業に関する新たな基本政策を構築するため、森巖夫明海大学教授を座長とする「森林・林業・木材産業基本政策検討会」を設置し議論を重ねてきました。

このほど、検討会の報告がまとまり、これに対する意見交換会が去る八月九日山形市において開催されました。

報告会には、林野庁から田家次長らが出席し、「森林・林業について再び国民に目を向けてもらい、国産材の振興、資源としての森林の復権を目指したい。このために何をやるべきかを検討することがこの基本政策の目

指すところである」などを説明していただきました。

県内からは、市町村長、林業関係団体、森林所有者ら、約一

主 な 意 見

- ①行政サイドの横の連携強化
- ②森林面積等に応じた森林交付税等の目的税の創設
- ③林業の振興のため、林道の規格を見直し、小規模な林道等の開設を検討
- ④木材産業活性化のために、川上から川下までの施策の具体化の検討
- ⑤森林の公益的機能の維持、森林資源の循環利用、持続可能な森林経営にとって、経済性は不可欠
- ⑥土木用木製施設の普及を図るためには、国の協力が不可欠
- ⑦木の良さを広く普及啓発するため、国レベルの取組が必要
- ⑧一般の人は森林には関心があるが、林業・山村には無関心なため、国民の理解が得られるような施策が不可欠



五〇人が出席し、活発な意見交換が行われました。

なお、林野庁では同様の意見交換会を、今後他県でも開催していく予定です。

【森林・林業・木材産業基本政策検討会報告の概要】
【基本的考え方】

森林に対する国民のニーズが、木材の生産、国土の保全等のほか、最近では、保健・文化・教育的利用や、地球温暖化防止な

ど、多様化・高度化しています。

一方、林業生産活動の停滞により、管理の不十分な森林が増加し、森林の有する公益的機能の発揮や山村地域の活力への影響が懸念されています。この報告はこれらの状況を踏まえ、多様な機能を発揮する森林を国民共通の財産として次世代に引き継ぐため、検討を重ね、取りまとめを行ったものです。

【検討の視点】

報告では、林政の基本的な考え方について、木材生産を主体としたものから、将来にわたり森林の多様な機能を持続的に発揮させていくための森林の管理・経営を重視したものに転換すべきとの認識の下に、

- ①多様な機能の発揮のための森林整備の推進
- ②将来にわたり安定した森林の管理・経営システムの構築

③森林資源の循環利用推進
④山村地域等の活性化
⑤地域の主体的取組の推進
の五つの視点から検討を行い、基本課題の整理を行っています。

〔基本的な課題〕

◆《多様な機能の発揮に向けた森林整備》

①森林計画制度と間伐の実施を重点的に推進する森林整備事業のあり方を検討する。

②公団事業や保安林制度の積極的活用等、公的関与による森林の管理・経営体制の整備。

③里山林等の保全・整備・利用を総合的に推進するとともに、ボランティア活動に対する支援

方策、社会的コスト負担のあり方について検討する。

◆《森林の管理・経営を担う林業の育成》

①意欲ある林家、林業経営体、第3セクター、森林組合等の多

様な担い手を育成し、地域の実情に応じ、これらの担い手への経営や施業の集約化を図るための方策を検討する。

②林業構造改善事業の見直しを検討（ソフト事業の強化、市町村主導型等）

③幅広い人材の確保・育成を図るための方策について検討する。

④意欲ある地域における路網の重点的整備、林道の規格・構造の弾力化、地域に最適な林業機械作業システム及び新たな高性能林業機械の開発普及、施業のあり方について検討する。

◆《循環型社会の形成に付与する木材産業の体質強化》

木材の需要構造の変化等に対応できるように構造改革を推進する。また、新技術・新製品の開発を通じ、地域のトップランナー的企業を育成する。適切な設備の規模や高能率化、原木の安

定供給の確保や取り扱い規模の拡大、協同出荷等による加工・流通の合理化、品質・性能の安定した製品の供給と品質管理を推進する。さらに、木材産業と設計者、大工・工務店等住宅供給サイドとの連携、公共部門等における木材利用、国民への普及啓発等について一層推進する。

◆《森林・林業・木材産業を通じた総合的・重点的な施策の展開》

国産材の生産・加工・流通のトータルコストの引き下げのための方策について総合的に検討する。

◆《国有林野事業改革の着実な推進》

森林、伝統文化等の地域資源を活用した産業の振興、都市との交流、定住条件の整備等を推進する。

◆《政策の展開方向に対応した試験研究・技術開発等の重点的推進》

◆《林業基本法等》

林業基本法について、森林に対する国民のニーズの変化、その他の経済社会情勢の推移等を踏まえ、そのあり方を検討する。また、基本的課題に対応するため、森林法等の法制度のあり方について検討する。

◆《山村の振興等》

山形市松波二一八一―
山形県農林水産部 森林課 企画係
☎（〇二三）六三〇―二五二五
FAX（〇二三）六三〇―二二三八

この報告に対するご意見、ご提案があれば、郵送かファックスで左記までお寄せください。

☎九九〇―八五七〇

山形市松波二一八一―

山形県農林水産部 森林課 企画係

☎（〇二三）六三〇―二五二五

FAX（〇二三）六三〇―二二三八



私がまだ小さい頃柱に持たれるのが好きでした。
 また、冷たい板の間に伏せているのも好きでした。
 今でもあのひんやりとした温もりを思い出します。
 今までいろいろな仕事を経験してきました。
 やつと大工という私のしたい仕事に巡り合ったと思っています。



私も頑張っています!!

女性に住みやすい家を

新庄市 黒田建設株式会社 川崎 春江

大工という仕事は、家を建てるということだけではないと思います。型枠、電気工事、鋸金、設備、その他の人との強力なチームワークがないと良い家はできないと思っています。
 今の家は、気密性や安価で見栄えの良い建物が好まれているようです。私としては、温もりのある家、日照や自然の通風を感じられるような家に住むことは、人間にとつて一番大切な事だと思っています。
 でも、現実はそのほかにないよう、現在のニーズに合った家を建てるのが多いようです。でも、どんな条件の家でも、建主の希望ですので一生懸命に



やらせていただいております。
 私が、この仕事を始めたのは、三五歳からです。あまり若くないので、最初は皆さんに付いていけるだろうかと大変心配でしたが、職場の皆さんの指導と協力、夫・父母から助けられてがんばることができたことを非常に感謝しております。
 私の今後の目標として、家にいることの多い女性の意見を十分聞きながら女性が住みやすい家を建てたいと思っています。

環境を守ろう

災害に強い県土を
 良質な水の安定供給を
 緑豊かな環境づくりを

森林を育てよう

山村の生活環境の整備を
 森林の恵みの循環利用を

山形県森林土木建設業協会

会長 志田 満雄

山形市桜町2-35(林業会館内)

電話 (023)632-3893 FAX (023)632-5454

「風ののれ 世界に広がれ 緑の大地」のテーマのもと、和歌山県で開かれた第十回緑の少年団全国大会に、六年生の笹原優子さん、小形亜希子さん、西置賜地方事務所の大山敏さんと四人で参加してきました。

会場となったのは田辺市と本宮町。この南紀一帯は熊野地方と呼ばれ、古くから信仰の地として知られた所です。また、温暖で多雨な気象条件のため、山々は多くの木々に被われ、たいへん自然豊かな所でした。山形県のスギ林とはまた趣が異なる、密植され真っすぐにのびたヒノキ林の中で三日間を過ごしました。

さすがに日本一降水量が多い地方だけあって、大会期間中は毎日雨となりました。予定されたカヌー体験や熊野古道ウォークができなかったのは少し残念



記念式典入場行進



「緑の少年団全国大会」に参加して

白鷹町立東根小学校
教頭 鈴木 木 正 人

でしたが、代わりに別の多くの体験をすることができました。

一日目の記念式典では、全国の少年団の代表と一緒に、プラカードと団旗を持って入場。その後、和歌山県美山村緑の少年団の体験発表等を聞くことができました。同じような活動に取り組んでいる仲間が全国にたく



新しい友達と那智御瀧の前で

さんいること、また、緑を守り育てるため意欲的に取り組む様子を知ったことは、たいへん有意義なことでした。

その後の交流集会は、四人それぞれが別の班に分かれて、まったく知らない人たちと一緒に二泊三日の活動を行いました。

二日目の午前中は、ネイチャードゲームとクラフト。ほら貝の

ような音を出す「竹ボラ」や小鳥の鳴き声のような「竹笛」を作り、みんなで鳴らしました。

午後は、日本一の高さを誇る那智の御瀧を見学し、自然のすごさ、力強さに感動しました。

二日目の夜の交流集会では、「山彦おじさん」と呼ばれる貴瀬さんによるトークと音楽を聴きま

野の自然の豊かさを音で感じることができました。

和歌山県では雨が降るとメリと木が大きくなるそうです。

この大会に参加した子ども達にとって、熊野の雨の中で自然のすばらしさを感じ、多くの友達と交流できた体験は、きつと心の成長のエネルギーとなってくれることと思います。

地域材を使用した木造施設 西川町「水沢温泉館」オープン

県では公共施設の木造化について積極的に推進しており、市町村に対しても、その協力をお願いしていますが、このほど西川町が水沢地区に建設を進めていた木造施設「水沢温泉館」が完成したので紹介します。

当館は床面積がおよそ千㎡の木造平屋建てで、大きな室内空間を構成する木造施設のため柱や梁、桁などには構造用LVL（単板積層材）を使用しています。また、内外装材などには積極的に地元の「西山杉」を使用しています。

木造使用量は西山杉が百六十㎡、構造用LVLが六五㎡であり、材料はすべて地元の西川町製材協同組合が納入しました。

建物の外観は、周囲の景観との調和を考えたデザインになっており、特に入口上部外壁や軒下を利用した野外連絡通路の天井などにはスギ板が使われています。

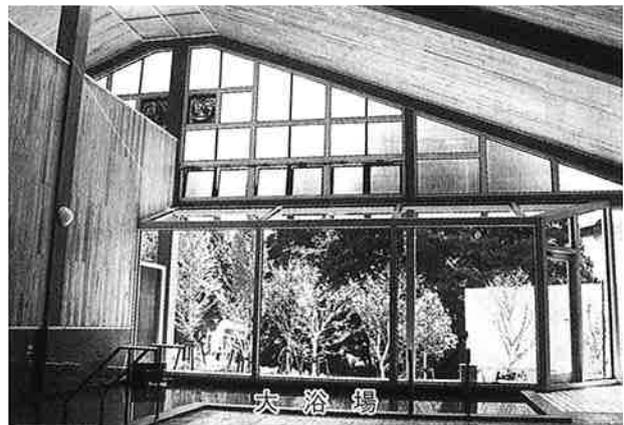


入口外観

中に入り玄関ホール及び大浴場の頭上にはゆとりの大空間を演出する構造になっており、その壁や天井にもスギ板をふんだんに使用しています。



館内



大浴場



倉庫

〔県森林課〕

さらに、休憩施設やラウンジスナックコーナーなどの柱や腰板などには、「西山杉」をできるだけ使用しており、明るく優しい木の温もりいっぱい造りになっています。

また、温泉館裏に「月山ビル」・「月山自然水」の貯蔵倉庫も同時に完成し、基本構造などは温泉館同様であり、内装についても「西山杉」を随所に使用しておりますので温泉館と共に一度ご覧になってください。

現地ルポ



真夏に駆けまわる『みどり』達！
 緑の少年団西村山・北村山交流研修レポート

平成十一年七月二十七日と二十八日に、県立朝日少年自然の家で平成十一年度山形県緑の少年団西村山・北村山地区交流研修会を実施し、六五人の元気な声が大江の深緑にこだました。

でも笑顔で楽しそうに約一時間、珠の汗をかきながら全員完走、おかえりなさい。

◆出会いと冒険
 当日は雲ひとつない青空、様々な地区の小学校から集まって来た子供達、その元気なあいさつにパワーを感じます。

自然の冒険の合間にはオリジナル、個性豊かな『木のペンダント』をこしらえました。

◆思いでに残る火
 自然の冒険の後には、班ごとの自由時間です。

でも各班にはひとつの宿題がありました。それはキャンプファイヤーの時、班ごとに『火についての発表をすること』でした。班によっては自由時間のほとんどをこの発表の練習に使ったところもありました。

入所式を済ませた子供達は班ごとに出会いがあり、すぐ『自然の冒険』へ出発しました。

子供達は、ひざを泥だらけにし、大声を上げながら、切立ったガケを下ったりイカダで池を渡ったり、スリルに満ちたコースに悪戦苦闘しましたが、それ

午後七時三〇分キャンプファイヤーは厳かに始まり、漆黒のやみが降りてく

ると、明々と燃える炎の照り返しに、子供達のほほは真紅に熱く染まっていききました。そして揺れ動く炎のスポットライトに照らされて、子供達の火についての語らいは、ポケモンから火にまつわる伝説まで、多種多彩に熱く続きました。

◆ブナの森探検
 二十八日の朝も快晴、暑くても楽しくてか、眠れなかった目をした子供達。それでも元気にラジオ体操で活動開始。

本日のメインイベントは西川町志津の自然博物館での観察ハイキングです。



涼しいブナ林で大騒ぎ

園の指導員に案内され、ミノムシやサンショウウオの観察、ヤモリを触って『キヤー！』大トチノキを見上げて『へー』わき水をすくって飲んで『冷たい』と大騒ぎ、昼は巨大なブナに見守られながらおにぎりをほおばりました。

『ブナ林は水の香りがした』とは子供の言葉、天然のクーラーは心地よかつたそうです。

◆植樹そしてフィナーレ
 ブナ林から戻ると、楽しかった研修会もお開き、みんなで記念に木を植えました。

心にも花が咲き実がなるように、『ヤマボウシ』『マユミ』を植樹、緑陰での再開を記念しての退所式となりました。

◆まとめ
 本日に暑かった二日間、二十世紀最後の夏休みのいい思い出になれば幸いです。
 (北村山地方事務所林業振興課)



晴天に恵まれた四月二十九日
みどりの日に藤島町の古都地内
の薬木公園で草木塔の除幕式が
行われました。

この草木塔は山野草愛好会(会
長齋藤伝三郎)が、草木への感
謝を表すとともに広く町民から
自然との共生や薬木への理解を
深めてもらおうと建立したもの
で、高さは約四呎になり、県内



最大級と言
われていま
す。

除幕式の
後、町が贈
った「キサ
サゲ」や、
会員からい
ただいた七
五三掛桜、イチヨウなどを記念
植樹しました。

さらに、庄内地方林業振興協
議会からは、山野草愛好会の活
動に賛同いただき、トチノキ、
カシワ、クロマツなど数十本の
苗木が贈られ、植栽されました。

式典後、愛好会の齋藤会長は、
「生き物や緑をそまつにする最
近の世相に染まらずに、毎年み
どりの日に、自然への感謝を行
い、子孫に豊かな緑を残してい
きたい」と話していました。

〔藤島町農林課〕



山形県の古木・名木⑥
神代カヤ

大江町小新にあり、五本株立
ちとなっており、根元の幹回り
が九呎、幹回りの最大ものは
三・五呎、高さは約一九呎ある。

「枯木といえども刃物を入れ
るな」と伝説がある。

樹齢は約一千五百年と推定さ
れ、カヤの木としては東北一と
いわれている。

昭和二十七年に山形県天然記
念物に指定されている。

〔山形県林業改良普及協会〕

平成11年度春募金実績

単位：千円

	家庭募金	街頭募金	職場募金	企業募金	学校募金	その他	計
東南村山		74	666	291	3,259	71	4,361
西村山	1,211		123	113		2	1,449
北村山	248		391	370	959	142	2,110
最上	1,097		141	90	104	54	1,487
東南置賜	1,992	76	160	908		84	3,220
西置賜			137	93	391	46	667
庄内	3,386	310	488	413	1,401	161	6,159
その他						4,294	4,294
緑基金		144	182	469		61	856
計	7,934	604	2,288	2,747	6,114	4,913	24,603

今年も四月二十三日から五月三十一日までの間を春の緑化運動期間として、緑の募金活動を展開しましたが、厳しい経済状況の中で昨年同期に近い、総額二千四百万円あまりの寄附が寄せられました。紙面を借りて、



「緑の募金」にご協力を!!
「平成十一年度秋の緑化運動」

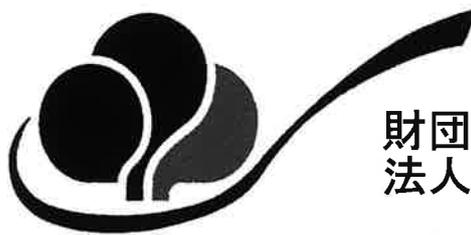


厚くお礼申しあげます。皆様のご好意は、「森づくり」・「緑を守り、育てる活動」や「緑の国際協力」等に責任をもって活用させていただきます。また、九月一日からは、秋募金の期間に入ります。県内では、本財団及び各地区林業振興協議

秋の主な緑化行事

行 事 等	月 日	場 所	備 考
緑の募金運動	9/1~10/31	全 県	
緑のプレゼント	10/3	西川街「銘水館」	
	10/11	鮎川村「エコパーク」	
第9回山形県林業まつり	10/2~3	山形市「国際交流プラザ」	
ウッドフェスティバル99	10/23~24	鶴岡市小真木原運動公園	
北村山地区林業まつり	9/15	尾花沢市「サルナート」	
山形市植樹祭	10/13	山形市蔵王山田字羽竜	
東南村山地区植樹祭	10/14	山辺町玉虫沼周辺	
西村山地区植樹祭	10/21	寒河江市「新山公園」	
庄内地方育樹祭	9/25	酒田市新町光ヶ丘	
山形県育樹祭	10/15	米沢市「大森山森林公園」	緑の少年団活動発表、式典、施肥
ボランティア緑化	10月~11月	県内7地区8箇所	ボランティア団体による地域の緑化
林業活性化シンポジウム	11/5	鶴岡市「国際交流センター」	基調講演「日本の木の住まい」他

会が、募金活動を展開することにしていきます。春同様、皆様のあたたかいご協力をよろしくお願ひします。この他に、地区の植樹祭や林業まつりをはじめ多彩な緑化行事が予定されていますので、多くの皆様の参加をお願いします。
 (財団法人山形県緑基金)



広げよう 緑をはぐむ輪

財団法人 山形県緑基金

事務局 〒990-2363 山形市大字長谷堂字馬場2265
 (山形県緑化センター内)
 TEL・FAX(023)688-7855

山形県林業まつり 好木心'99 「木を活かして活かす環境のたかね生活」

今年で九回目を迎える、「林業まつり」が左記のとおり開催されます。

一、日時

十月二日(土) 十二時～十六時
十月三日(日) 九時～十五時

二、会場

山形国際交流プラザ
(ビッグウイング)

三、主な催し内容

- ・ 森林、林業、木材、木造住宅などをわかりやすく紹介するテーマ館
- ・ 間伐材を利用した各種製品を一挙紹介する特設コーナーの設置
- ・ 県産きのこを堪能できる『きのこの村』の設置
- ・ 青空親子木工教室



- ・ 県産優良製材品、木工品、特産品の展示販売
- ・ 働く林業機械の展示試乗
- ・ 緑化樹プレゼント

この他、楽しい企画盛り沢山で、皆様のご来場をお待ちしております。
〔県森林課〕

ウッドフェスティバル'99 「へんごん生活かまじゅう、木のよさを」

今年で十回目となるウッドフェスティバルが左記のとおり開催されますので、皆様のご来場をお待ちしております。

一、日時

十月二十三日(土) 十時～
十月二十四日(日) 十五時

二、場所

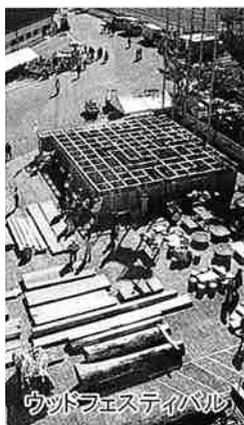
鶴岡市小真木原公園内
体育館周辺広場

三、主催

山形県、鶴岡市

四、催し物内容

- ・ 森林、林業をわかりやすく紹介する展示コーナー
- ・ 丸太、銘木、製材品が集まる「木の散歩道」
- ・ 自由に気軽に木工に挑戦「クラフト村」



- ・ 伝統的な「上棟祭」の実演
- ・ 好評な「緑のプレゼント」
- ・ 「歌謡ステージ」と生演奏
- ・ 人気の木製巨大迷路
- ・ 楽しい各種ゲーム大会
- ・ 豊富な山の幸の展示販売
- ・ 木工品、遊具の展示販売

他にも楽しい催しをたくさん用意しております。
また、「緑の鶴岡農林水産まつり」も同時に開催されますので秋の一日を十分に楽しんでいただけるものと思っております。
〔県森林課〕

— 全国食用きのこ種菌協会会員 —
〒999-7757
山形県東田川郡余目町払田字村東17-2



株式会社
河村式種菌研究所

きのこ 作りなら。

◎形質を誇る!

○しいたけ・なめこ

お問い合わせは：電話 0234(42)1122(代)
FAX 0234(42)1124
青森県営業所：青森県三戸町同心町 電話 0179(23)3582

ひらたけ・まいたけ・ぶなはりたけ
くりたけ・たもぎたけ・むきたけ
その他きのこ種菌

緑のアドバイザー



財団法人 林野弘済会秋田支部 支部長 石岡 保

〒010-0001 秋田市中通5-9-16 (東北森林管理局内)
TEL 018(832)4040 FAX 018(835)6837
山形出張所 〒990-0021
山形市小白川町5-28-8 (蔵王森林センター内)
TEL・FAX 023(641)1024

信頼の森林づくり

地域に根ざした豊かな森林をつくります
いろいろな森林体験ができます

財団法人山形県林業公社

山形市鉄砲町二丁目19番68号
TEL 023-623-3505



やすらぎの緑の空間を創造し 山形の未来を考える

社団法人 山形県緑化センター

理事長 原田 克弘

山形市大字長谷堂字馬場2265番
TEL (023)688-6633 FAX (023)688-6634

林業活性化シンポジウムの開催

◆日 時 平成十一年十一月五日(金) 午後一時～四時三〇分

◆場 所 出羽庄内国際村(鶴岡市伊勢原八―三二)

◆テ―マ 「進めよう！ふるさとの木を使った住まいづくり」

◆基調講演

●演題 「日本の木の住まい」

●講師 全国ホームミースタディグループ(住宅環境研究会)

会 頭 影 山 弥太郎 氏

◆シンポジウム

●コーディネーター

(財)日本木材総合情報センター

調査情報部長 角 谷 宏 二 氏

●パネリスト

東北森林管理局庄内森林管理署

流域管理調整官 福 山 久 夫 氏

出羽庄内森林組合 業務係長 山 岸 彰 氏

温海町森林組合 参事 榎 本 五 郎 治 氏

(株)岩浪木材センター 代表取締役 岩 浪 春 吉 氏

(株)大和 一 級 建 築 士 栗 本 直 美 氏

◆主 催 置賜流域林業活性化センター 庄内流域林業活性化センター

最上・村山流域林業活性化センター 合同

◆問い合わせ先 三川町大字横山 山形県庄内支庁林業振興課内

庄内流域林業活性化センター

電話 〇二三五―六六一二―二二(代) 内線三四二

(7月10日現在)

木材市況

素材	樹材種		材長	品等	1m ³ 当り価格	前月比較	
	スギ小丸太		3.65~4.00m	込	13,700円	+100円	
	スギ中丸太		〃	〃	18,200円	-600円	
	スギ大丸太		〃	〃	20,800円	-500円	
	米マツ中丸太		6.0m~	普通材	20,900円	+200円	
	米マツ大丸太		〃	〃	24,100円	-400円	
	北洋アカマツ中丸太		3.8~	〃	18,500円	+300円	
製品	樹材種	厚	幅	長	品等	1m ³ 当り価格	前月比較
	スギ柱	10.5cm	10.5cm	3.00m	特等	62,500円	+300円
	米マツ柱	10.5cm	10.5cm	4.00m	〃	57,900円	+600円

印刷所 大場源太郎印刷所

定 価 一 部 二 〇 円

森林やまがた9月号 平成11年9月1日発行 通巻第30号

編 集 山形県林業改良普及協会 山形県

発 行 山形県林業改良普及協会

〒990-0045 山形市桜町2-35 林業会館内

☎(023)622-8823 FAX(023)633-8506